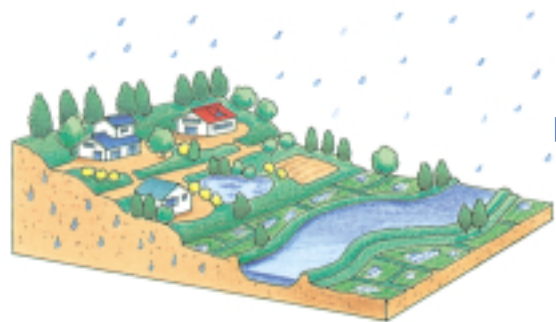


# なぜ今、 雨水貯留浸透施設なのか

開発が進む前

開発が進むと



都市化の進展



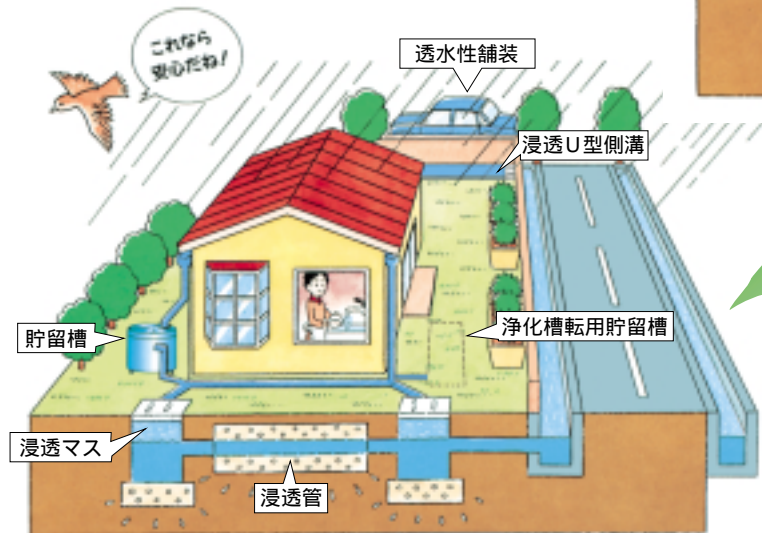
雨水の多くが地中に浸透したり、水田やため池に貯留され、下流への流出は抑えられている。

地表がコンクリートなどで覆われ、水田やため池がなくなることで、下流への流出が増え低地の浸水被害が増大する。

貯留浸透施設を  
設置する前



貯留浸透施設を  
設置した後



水害防止にあなたも一役

# 雨水貯留浸透施設 設置のお願い

河川や水路の負担を軽減し水害の発生を防ぐため、  
雨水浸透枳などの雨水貯留浸透施設の設置にご協力ください。



近年、都市化が急速に進み土地利用状況が大きく変化し、雨水を一時的に溜めたり地中にしみこませる田畑などがなくなってきたり、宅地をコンクリートで覆ったりしているため、以前よりも早くかつ一度にたくさんの水が川や水路に流れ込み、浸水被害の原因になっています。

雨水を貯留又は地下に浸透させることにより、川や水路への雨水の流出を抑え、浸水被害を緩和させることができます。

刈谷市では、水害に強い安全な街づくりの実現をめざし、宅地内への雨水浸透枳及び雨水貯留槽等の設置を支援します。家庭でもできる浸水対策にぜひご協力ください。